

所属部門: すべて	施設調査で許可病床数が得られる施設のみの集計レポート
職種: すべて	
発生場所: すべて	
発生場所詳細: すべて	
患者の確定: すべて	
器材の選択・使用者: すべて	
器材の所持者: すべて	
器材の汚染: すべて	
使用目的: すべて	
発生状況: すべて	
器材項目: すべて	
器材名: すべて	
受傷部位: すべて	
安全器材: すべて	
受傷の程度: すべて	
手袋着用: すべて	
HBs抗体: すべて	
緊急処置時受傷: すべて	

施設数: 73
平均許可病床数: 679.0

注:それぞれの項目の集計において「記載なし」のデータは除いて集計してあります。(経費、日数を除く)

2. 部門

1	医師部門	861	31.8%
2	病棟部門	1,073	39.6%
3	外来部門	172	6.4%
4	中材・手術部門	344	12.7%
5	検査部門	108	4.0%
6	放射線部門	19	0.7%
99	その他	131	4.8%
合計		2,708	

3. 職種

1	医師(常勤・非常勤を含む)	546	19.1%
2	レジデント・研修医	364	12.7%
3	医学生	21	0.7%
4	看護師	1,541	53.8%
5	准看護師	25	0.9%
6	看護助手	55	1.9%
7	看護学生	1	0.0%
8	臨床検査技師	102	3.6%
9	放射線技師	10	0.3%
10	歯科医師	23	0.8%
11	歯科衛生士	9	0.3%

12	業務士(清掃・洗濯・廃棄など)	52	1.8%
13	薬剤師	3	0.1%
14	助産師	27	0.9%
15	保健師	3	0.1%
16	臨床工学技士	4	0.1%
99	その他	77	2.7%
合計		2,863	

医師診療科

1	内科	115	21.7%
2	外科	121	22.9%
3	麻酔科	21	4.0%
4	整形外科	42	7.9%
6	形成外科	21	4.0%
7	小児科	21	4.0%
8	産婦人科	22	4.2%
9	眼科	18	3.4%
10	皮膚科	23	4.3%
11	泌尿器科	22	4.2%
12	耳鼻咽喉科	15	2.8%
13	精神・神経科	2	0.4%
14	放射線科	24	4.5%
15	歯科・口腔外科	11	2.1%
16	脳神経外科	10	1.9%
17	腎透析部	2	0.4%
18	中央臨床検査	1	0.2%
19	救急部	12	2.3%
99	その他	26	4.9%
合計		529	

レジデント・研修医診療科

1	内科	104	32.5%
2	外科	70	21.9%
3	麻酔科	16	5.0%
4	整形外科	10	3.1%
6	形成外科	3	0.9%
7	小児科	20	6.3%
8	産婦人科	14	4.4%
9	眼科	7	2.2%
10	皮膚科	5	1.6%
11	泌尿器科	3	0.9%
12	耳鼻咽喉科	3	0.9%
14	放射線科	5	1.6%
15	歯科・口腔外科	18	5.6%
16	脳神経外科	4	1.3%

17	腎透析部	1	0.3%
19	救急部	31	9.7%
99	その他	6	1.9%
合計		320	

4. 発生場所

1	病室(集中治療室を除く)	978	34.4%
2	病室外(廊下、ナースステーション、処置室等)	331	11.6%
3	救急部門	113	4.0%
4	集中治療部(術後回復室を含む)	102	3.6%
5	手術部	686	24.1%
6	外来診察室(処置室)	244	8.6%
7	輸血部	5	0.2%
8	中央採血処置室	79	2.8%
9	透析室	25	0.9%
10	特殊検査処置室	96	3.4%
11	中央検査部	28	1.0%
12	病理解剖	18	0.6%
13	中央材料室	22	0.8%
14	分娩室	11	0.4%
15	在宅	1	0.0%
99	その他	104	3.7%
合計		2,843	

事例発生場所詳細(病室&病室外)

1		21	10.7%
2		24	12.2%
3		30	15.3%
4		27	13.8%
5		30	15.3%
99	その他	64	32.7%
合計		196	

事例発生場所詳細(外来診療室)

1	内科	19	16.0%
2	外科	4	3.4%
3	麻酔科	3	2.5%
4	整形外科	6	5.0%
6	形成外科	1	0.8%
7	小児科	10	8.4%
8	産婦人科	2	1.7%
9	眼科	4	3.4%
10	皮膚科	12	10.1%
11	泌尿器科	3	2.5%
12	耳鼻咽喉科	6	5.0%
15	歯科・口腔外科	25	21.0%

99	その他	24	20.2%
合計		119	

5. 患者の確定

1	はい	2,495	88.3%
2	いいえ	240	8.5%
3	適切な回答なし(患者への使用前など)	92	3.3%
合計		2,827	

患者区分

1	入院	1,942	83.0%
2	救急外来	101	4.3%
3	外来(救急除く)	295	12.6%
4	不明	3	0.1%
合計		2,341	

確定患者の検査結果

感染症名	陽性	陰性	未検査	計
HIV感染	18	1,404	618	2,040
HCV感染	501	1,715	60	2,276
HBs抗原	135	1,976	77	2,188
HBe抗原	21	869	787	1,677
梅毒感染	85	1,388	345	1,818
ATLA感染	26	573	921	1,520

6. 器材の選択・使用者

1	はい	1,577	57.0%
2	いいえ	983	35.5%
3	適切な回答なし	207	7.5%
合計		2,767	

6-A. 他者所持の器材

1	はい	430	21.2%
2	いいえ	1,594	78.8%
合計		2,024	

7. 器材の汚染

1	見える程度の血液などが付いていた	902	33.3%
2	受傷時には見える程度の血液などはついていなかった	1,252	46.2%
3	血液などで汚染されていなかった	279	10.3%
4	汚染されていたかどうか不明	275	10.2%
合計		2,708	

8. 使用目的

1 不明	86	3.1%
2 注射器を用いた経皮的な注射(静・筋・皮下・皮内等)	644	23.0%
3 ヘパリン生食等でフラッシュ洗浄(注射器を用いて)	17	0.6%
4 静脈ラインのインジェクションサイト(ゴム管・ゴム栓)への側注又は採血	31	1.1%
5 静脈ラインの接続・増設	30	1.1%
6 末梢血管確保(動脈を除く、静注、一時・持続点滴を含む)	249	8.9%
7 静脈採血	426	15.2%
8 動脈採血	82	2.9%
9 体液・組織採取(試験穿刺、生検、ルンバール等)	69	2.5%
10 耳介・指・足底など穿刺	52	1.9%
11 縫合	429	15.3%
12 外科的切開	135	4.8%
13 電気焼灼(電気メスの使用など)	18	0.6%
14 剃毛	5	0.2%
15 動脈/中心静脈ラインの確保	73	2.6%
99 その他	450	16.1%
合計	2,796	

9. 事例発生状況

1 器材を患者に使用する前(既に壊れていた、器材の組立、静脈ラインの組立等)	115	4.1%
2 器材を患者に使用中(患者の動作による受傷、翼状針・点滴針等の抜針・止血時、及び患者の抑制介助時を含む)	692	24.5%
3 数段階の処置を実施する時に、その処置操作の合間(数回の注射の間や薬剤の追加時、器材の受け渡し時等)	272	9.6%
4 器材の分解時	230	8.2%
5 再生可能な器材の再使用のための操作中(分類、洗浄、消毒、滅菌等)	83	2.9%
6 使用済み注射針のリキャップ時(血液ガス検体にゴム栓などを刺す時等を含む)	264	9.4%
7 ゴム管・ゴム栓(インジェクションサイト、試験管チューブ)への注入及び抜針時(血液等の検体の分注処理を含む)	89	3.2%
8 その他の、使用後から廃棄するまでの間(不適切な搬送容器や、リネンなどに紛れ込んでいた)	281	10.0%
9 廃棄ボックスの上やその近くに放置してあった器材で	28	1.0%
10 廃棄ボックスに器材を入れる時	201	7.1%
11 廃棄後に廃棄ボックスの投入口からはみ出していた器材で	51	1.8%
12 廃棄ボックスの投入口以外の部位から突き出していた器材で	7	0.2%
13 廃棄後ゴミ袋や不適切な容器から突き出していた器材で	46	1.6%
14 患者の抑制介助時	27	1.0%
15 使用済み器材が床・テーブル・ベット等の上に放置されていた	103	3.7%
99 その他	330	11.7%
合計	2,819	

10. 器材

1	使い捨て注射器の針(普通の注射器、ツ反・インスリン用注射器等)	752	27.0%
2	最初から薬剤の充填されている注射器の針(ペン式・カートリッジ式インスリン用注射器等)	219	7.9%
3	血液ガス専用の注射器の針	42	1.5%
4	その他、あるいは種類のわからない注射器の針(ガラス製注射器も含む)	7	0.3%
5	点滴ラインの接続・増設等に用いる針	24	0.9%
6	翼状針及び点滴セットと一体となった翼状針	350	12.6%
7	静脈留置針(静脈カテーテル サーフロー、エラスター、アンジオカット等)	216	7.8%
8	真空採血セットの針	55	2.0%
9	ルンバール針又は硬膜外針	7	0.3%
10	何にも接続されていない注射針	32	1.1%
11	動脈カテーテル誘導針	9	0.3%
12	中心静脈カテーテル誘導針	24	0.9%
14	その他の血管用カテーテル(心臓カテーテル等)	5	0.2%
15	その他の非血管用カテーテル(眼科用等)	2	0.1%
28	分類不能な針	11	0.4%
29	その他の針	173	6.2%
30	ランセット(耳介・指・足底からの穿刺採血用)	47	1.7%
31	縫合針	424	15.2%
32	再生使用する外科用メス(替え刃を含む)	27	1.0%
33	剃刀、刃	44	1.6%
34	プラスチック製ピペット	1	0.0%
35	はさみ	18	0.6%
36	電気メス	12	0.4%
39	布鉗子	1	0.0%
40	マイクロトームの刃	5	0.2%
41	トロッカー(套管針)	1	0.0%
42	プラスチック製の吸引チューブ	2	0.1%
44	指の爪、歯	20	0.7%
45	ディスポーサブル外科用メス	58	2.1%
46	レトラクター、スキンフック、ボーンフック	18	0.6%
47	ステーブル/金属縫合糸	2	0.1%
48	ワイヤ	15	0.5%
49	ピン	5	0.2%
50	ドリルビット	2	0.1%
51	鑷子、鉗子類	15	0.5%
58	種類のわからない鋭利器材	15	0.5%
59	その他	105	3.8%
60	薬剤アンプル	7	0.3%
61	薬剤バイアル	1	0.0%
63	ガラス製ピペット	3	0.1%
65	試験管・検体容器	2	0.1%
66	ガラスの毛細管	2	0.1%
78	種類のわからないガラス製品	1	0.0%
79	その他のガラス製品	6	0.2%
合計		2,787	

11. 安全器材

1	はい	555	22.5%
2	いいえ	1,914	77.5%
合計		2,469	

安全装置作動有無

1	完全に作動	60	12.7%
2	一部(部分的)作動	145	30.7%
3	いいえ	217	46.0%
4	不明	50	10.6%
合計		472	

受傷の時期

1	作動前	190	40.9%
2	作動中	92	19.8%
3	作動後	151	32.5%
4	不明	31	6.7%
合計		464	

安全機能の可否

1	はい	227	78.0%
2	いいえ	64	22.0%
合計		291	

12. 受傷部位

(表示されている内訳は部位1に入力されている値で分類表示)

1.右手背第1指	61	2.3%
2.右手背第2指	96	3.7%
3.右手背第3指	63	2.4%
4.右手背第4指	28	1.1%
5.右手背第5指	10	0.4%
6.右手背内側	34	1.3%
7.右手背外側	15	0.6%
8.右手掌内側	30	1.2%
9.右手掌第5指	27	1.0%
10.右手掌第4指	55	2.1%
11.右手掌第3指	115	4.4%
12.右手掌第2指	302	11.6%
13.右手掌外側	48	1.8%
14.右手掌第1指	180	6.9%
15.左手掌第1指	233	9.0%
16.左手掌外側	58	2.2%
17.左手掌第2指	408	15.7%
18.左手掌第3指	205	7.9%
19.左手掌第4指	58	2.2%
20.左手掌第5指	24	0.9%
21.左手掌内側	33	1.3%

22.左手背外側	16	0.6%
23.左手背第5指	20	0.8%
24.左手背第4指	33	1.3%
25.左手背第3指	51	2.0%
26.左手背第2指	111	4.3%
27.左手背内側	31	1.2%
28.左手背第1指	93	3.6%
30.前面右手首	14	0.5%
31.前面右前腕	19	0.7%
32.前面右上腕	9	0.3%
33.前面右顔面	4	0.2%
34.前面右胸腹部	2	0.1%
35.前面右下腹部	1	0.0%
36.前面右大腿部	9	0.3%
37.前面右下腿部	6	0.2%
38.前面右足背部	11	0.4%
39.前面左顔面	3	0.1%
40.前面左胸腹部	1	0.0%
42.前面左大腿部	8	0.3%
43.前面左下腿部	2	0.1%
44.前面左足背部	7	0.3%
45.前面左上腕	10	0.4%
46.前面左前腕	13	0.5%
47.前面左手首	7	0.3%
48.後面左手首	1	0.0%
49.後面左前腕	2	0.1%
50.後面左上腕	4	0.2%
53.後面左臀部	1	0.0%
54.後面左大腿部	1	0.0%
55.後面左下腿部	3	0.1%
56.後面左足背部	1	0.0%
57.後面右頭部	1	0.0%
59.後面右臀部	1	0.0%
61.後面右下腿部	1	0.0%
62.後面右足背部	5	0.2%
63.後面右上腕	7	0.3%
64.後面右前腕	4	0.2%
65.後面右手首	2	0.1%
合計	2,598	

13. 受傷の程度

1.1 出血なし	331	12.3%
1.2 表在性(少量の出血)	1,596	59.5%
2 中程度(皮膚の針刺し・切創、中等量の出血)	724	27.0%
3 重症(深い針刺し・切創、著しい出血)	31	1.2%
合計	2,682	

14. 手袋着用

1	一重の手袋	1,499	56.4%
2	2重の手袋	156	5.9%
3	手袋なし	1,003	37.7%
合計		2,658	

15. HBs抗体

1	はい(ワクチン接種による)	1,655	61.9%
2	はい(自然陽転あるいは既往疾患などによる)	126	4.7%
3	いいえ	554	20.7%
4	不明	337	12.6%
合計		2,672	

16. 緊急処置時受傷

1	はい	126	4.7%
2	いいえ	2,570	95.3%
合計		2,696	

受傷による損失経費	総計	696,064 円
■ 検査費用(HB、HCV、HIV、肝機能など)		
1) 該当患者に実施した検査	140,779 円	
2) 受傷者に実施した検査	555,285 円	
小計	696,064 円	
■ 業務中断/職場離脱	0 円	
■ 代務採用経費	0 円	
合計	696,064 円	
■ 感染・発症予防措置の費用 (HB免疫グロブリン、抗HIV予防投薬など)		
	9,210 円	
■ 発症後の治療費用		
	0 円	

公労災の申請をしたもの

1	はい	269	56.6%
2	いいえ	206	43.4%
合計		475	

公労災の認定状況

1	はい	38	100.0%
合計		38	

受傷による損失勤務

病休日数	0.00 日
就業制限	0.00 日
計	0.00 日